

# 現場の足跡

当社の最近の施工実績を紹介します。

するとともに、休日に講演会や講習会などが催された時は邪魔にならないように気を付けました。たまに400m超のケーブル配線など、無線で連絡をとりあう作業を行った際は、無線のボリュームを極限まで絞るなどの配慮をしました。



## 京都先端科学大学の京都太秦キャンパス工学部棟

今回新設した工学部棟は、最新鋭の実験設備が備えられています。当社は電気設備工事を施工しました。



キャンパス内

に敷設されています。電気の配線や配管は、学生の皆さまの教材となるように、天井などで覆い隠さない露出配管にしました。また、配線や配管ケーブルラックなどが綺麗に見えるよう特にこだわって設置しました。また、建物

中央2階部分に光庭(光を採り入れるための庭)があり、上空まで吹き抜けになっているので、屋上に設置する機器や配管類が採光の邪魔にならないよう注意してレイアウトしました。

### 施工概要

- 工事場所  
京都市右京区山ノ内五反田町18番地
- 工期  
2018年11月1日～2020年9月30日

## 快足通信

当社陸上競技部の新入部員を紹介します。

### 難波 天 選手

1999年3月6日生／福井県出身

自己ベスト [5000m] 13分44秒72  
[10000m] 29分10秒41  
[ハーフマラソン] 61分47秒



### 河合 拓巳 選手

1999年3月24日生／愛知県出身

自己ベスト [5000m] 14分13秒05  
[10000m] 28分57秒98



#### Qストロングポイントは

A 本番に強いタイプだと思います。箱根駅伝など大舞台でも自分の走りをすることができました!

#### Q実業団1年目の目標は

A 10000mで27分台を出したいです。ニューオリンピックでは区間一桁の順位で走ってチームに貢献したいです。



#### Qストロングポイントは

A とても面白い性格だとよく言われます。どんな練習でも面白に、集中力を維持して取り組める点だと思います。

#### Q実業団1年目の目標は

A 10000mで28分30秒を切り、ニューオリンピックでは区間一桁の順位で走ってチームに貢献したいです。

2021 Spring  
TOENEC NEWS

# トーエネックニュース

トーエネックニュースは年4回(1月・4月・7月・10月)発行です。

発行 〒460-0008 名古屋市中区栄1-20-31  
株式会社トーエネック 総務部 広報グループ  
TEL 052-219-1906

ご意見・ご感想・お問い合わせなど お待ちしております。

本紙で紹介している  
以外にも当社の最新  
ニュースや施工実績を  
HPでご覧いただけます。



CHECK!



No.12

# 新体制スタート

4月1日付で、代表取締役社長に藤田祐三が就任いたしました。

## 社長就任のご挨拶

お客さまと社会から信頼される  
企業を目指す



代表取締役社長

藤田 祐三

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび社長という重責を担うこととなり、この上なく身の引き締まる思いをしております。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

### 成長に向けて

まず、当社を取り巻く経営環境につきまして、新型コロナウイルス感染症の影響により今後は厳しい受注・価格競争が予想されます。また、2024年度からは働き方改革関連法が建設業にも適用されることから、社員の意識や業務の内容・進め方について変革が迫られております。取り組むべき課題はたくさんありますが、こうした変化の中にもチャンスを見出し、当社の成長に繋げていきたいと考えております。

### 人材育成に注力

当社はこれまで、大野前社長のもと、生産性の向上や人材育成に注力してまいりました。特に人材育成については、中期経営計画2022にも『人材投資によるさらなる成長』と掲げているように、人材を質・量ともに充実させることが、当社の発展を考える上で最も重要であると考えています。今後も引き続き人材育成に注力し、現場力の向上に努めてまいります。そして、あらためて「お客さまと社会から信頼される企業」を目指してまいります。

### 結び

皆さまからのご期待にお応えできるよう全力で取り組んでまいりたいと思います。  
今後とも、変わらぬご指導を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

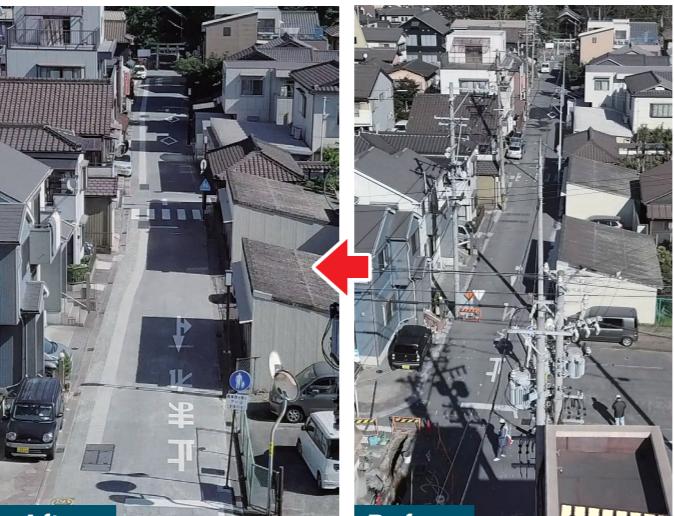
2021年4月1日

# 現場の足跡

当社の最近の施工実績を紹介します。



▲小型ボックス設置の様子



After

Before

**施工メモ**

地中線工事にお

いて電線と通信線

と一緒に布設する

際は、両線を同一の

管路に収納埋設する「電線共同

溝方式」で行われることが多い

です。これまで電線と通信線を同一

の管路に収納する際、両線を300mm

隔離するルールとなっていました

が、2016年に無電柱化推進

法が施行となりルールが緩和(条

件により隔離が不要)されました。

こうした背景から、東海市、中

部電力および当社により、従来よ

りも小型の電線共同溝となる「小

型ボックス」の開発に取り組みま

した。車道埋設タイプの小型ボッ

クスの開発は全国初の試みでし

た。車道設置型のボックスは、その上をクルマが通過

可能な強度が必要であったため

削深さについても、従来品は約2.5m

分の1、高さ約3分の1と大幅に

小型化され、かつ埋設に必要な掘

削を追求しました。完成した「小型

ボックス」は、従来品よりも幅約4

分の1、高さ約3分の1と大幅に

小型化され、かつ埋設に必要な掘